

市政報告

仙台市議会議員
田村 勝

J R 仙石線福田町駅は現位置でのバリアフリー化が困難ということから駅を移設する事を基本に進めていくことを昨年2月に仙台市とJ R 東日本で確認書を取り交わしております。今回は所属する仙台市議会都市整備委員会にて今後の予定を確認しましたのでご報告します。

J R 仙石線 福田町駅の移設までの流れについて

7月21日 都市整備委員会

問 駅移設の確認書をJ R と取り交わしてから約1年半が経つが、これまでの経過を含め現在の進捗をお示しください。

公共交通推進課 福田町駅のバリアフリー化に関しましては、駅の移設を伴う整備を基本に検討することについて、令和2年2月にJ R 東日本と確認書を締結して以降、令和2年11月に事業の位置や範囲等の基本事項を定めた覚書を、J R 東日本と締結いたしました。その後、覚書に基づきまして、駅の移転や自由通路の検討に伴う測量及び地質調査をJ R 東日本で行い、先月(6月)完了したところでございます。また、本市といたしましては、駅周辺に整備する施設の規模や配置などの検討を現在行っているところでございます。

問 次のステップを含め、今後の工程についてお示しください。

公共交通推進課 新しい駅舎及び自由通路や駅周辺施設整備の計画地の一部は、現在、J R 東日本が所管している鉄道用地でございまして、ケーブルや鉄塔、受電施設などが支障になる可能性があるため、これらをはじめとした支障物の調査について、J R 東日本が今年度下半期(令和3年9月から令和4年3月)に着手する予定となっております。来年度以降、支障物の調査が完了した後、駅舎や自由通路の設計を進める予定としております。また、本市では引き続き、駅周辺に整備する施設やその配置の検討を進めるとともに測量なども行い、来年度以降、駅周辺施設の設計を進める予定としております。

問 地域の方が気にしているのはいつになったら移設するのか、いつになったら具体的な移設後の周辺整備を含めたイメージが出来上がるのかでございます。そこで、どのような段階を迎えれば、全体的なスケジュールやイメージをお示し頂けるのか。

公共交通推進課 支障物の調査結果を受けまして、駅舎の位置や支障の規模、施工の手順が把握できるものと考えております。J R 東日本による支障物の調査は1年以上かかると伺っており、今後の作業や協議の進捗によるところではございますが、本市といたしましては、**来年度上半期(令和4年3月から9月)を目途に全体的なスケジュールやイメージをお示しすることが可能と考えております。**また、平行いたしまして、駅舎及び自由通路や駅周辺に整備する施設の内容や配置計画などにつきましては、今後とも、福田町駅整備促進協議会をはじめとした、地域のみなさまと意見交換を行いながら進めてまいりたいと存じます。

問 駅移設と周辺整備にかかる費用についての考えをお示しください。

公共交通推進課 駅舎の移転に関しましては、J R 東日本の負担が基本となりますが、国と仙台市でも補助することとしております。自由通路や駅周辺施設に関しましては、国の交付金を活用しながら市の負担とするといった大まかな費用分担の考え方はまともっておりますが、設計も未了でありますため、全体事業費が固まっていない状況でございます。今後、全体の計画や予算についての検討を進め、費用分担を整理したうえで、**来年度にはJ R 東日本との基本協定を締結する予定としております。**本市といたしましても、長年にわたりまして地域の皆様から改善のご要望を頂いております福田町駅のバリアフリー化に向け、一日も早く地域の皆様の思いが実現できるよう鋭意取り組んでまいりたいと存じます。

J R 福田町駅移設先



J R 仙石線福田町駅は現位置から西に約200mの所に移設することになっております。